

坂下だより

発行 発行者 坂下地区推進委員会
 発行 日 立市坂下イテ
 コミュニティ編集者 調査広報部
 TEL 52-3155 FAX 53-9122
<http://www.net1.jway.ne.jp/hitachi-minami/>
 コミ推 HP

南部4地区親善交流スポーツ大会



かぼちゃチーム



さかもとチーム

坂下地区スポーツ振興会

会長 寺門 修一

令和6年度南部4地区（水木、大みか、久慈、坂下）親善交流スポーツ大会が2月9日（土）泉が森体育館で開催されました。

南部4地区のコミュニティ推進会の交流と親睦を目的に大みか学区が事務局で今年度も「4コートゲーム」を行いました。

この競技はバレーボールを基本として、ネットを十字に張り4つのコートに5人が入り4チームが同時に対戦します。1セット15分で失点が少ないチームが上位となります。

今年も日立市スポーツ推進委員協議会の協力と指導をいただき、各地区から2チーム、計8チームで試合を行いました。中学生、男女混合チームなどの参加があり、若者から高齢者まで和気あいあいにゲームを楽しみました。今年は中学生が4チーム出場し、元気なプレーで大会を盛り上げました。

坂下地区から今年も参加したママさんバレーボールチームの「さかもと」は大接戦の末、惜しくも準優勝。チームは8位でした。

防災研修に参加して

坂下地区防災防犯部事務局

2月14日（金）に防災防犯協議会主催の防災研修で、栃木県宇都宮市にある栃木県防災館に行ってきました。バスによる研修旅行はコロナ禍もあり久しぶりの実施です。総勢23人、早朝7時40分出発でしたが欠席もなく全員参加で無事開催できました。

防災館では案内の方から、ためになる話や面白トークを聞きながら、笑ったり叫んだり真剣に打ち込んだりと、大風・大雨・地震・煙を体験しました。どれも想像以上で、特に大風の前を歩くのは体が飛ばされるような恐怖を感じました。

実際これらの災害に直面した時、落ちていく対応できるか不安に思いました。全部の体験を終え退館後の集合写真は皆さん満足げな表情でした。その後、昼食をとりいちご狩りを楽しみ交流センターに戻りました。少々長い時間でしたが有意義な一日でした。

安全運転で移動してくださった乗務員の方、関係者の方に深く感謝いたします。



防災体験の説明を聞く参加者



防災館入り口で全員集合

ブラスバンド×吹奏楽コンサート

生涯学習事業担当

1月25日(土) サンライズブラスバンドと日立大みか吹奏楽団合同コンサートを開催しました。

サンライズブラスバンドは、当交流センターで日曜日の夜熱心に活動しています。ブラスバンド好きが集まり「日立の美しい朝日のように爽やか、かつ明るく活動を発展させていきたい」という希望を込め活動しているそうです。

日立大みか吹奏楽団は、日立製作所大みか事業所の専門部として活動している全国でも数少ない職場の吹奏楽団で、定期演奏会のほか、各種イベントでの演奏を通じて地域との交流を深めているそうです。

最初の数曲はサンライズブラスバンドの若々しく、爽やかな演奏でした。大みか吹奏楽団との演奏は、楽器の種類も増え、28人での演奏は、音の幅、音量が増して迫力のある素晴らしい演奏でした。楽器を詳しく紹介して頂き楽器一つ一つの名前や音色を知ることができました。

後半は女流演歌コレクション。いい日旅立ち、川の流れのようになど、思わず口ずさみたくなり、体でリズムを取りながら聞いている方もいらっしやいました。若いエネルギーがシユな演奏に、元気をもらええる楽しいコンサートになりました。

早々に来年度も開催のお約束を頂きました。若者の持つエネルギーは素晴らしいものです。ぜひ皆さんお越しください。



演奏する皆さんと聴衆の皆さんが一体に

ひな祭りをみんなで楽しもう

ライブラリーボランティア

内山とよ子

3月10日(月) 青少年育成会とおもちやライブラリーの協賛で「絵本の読み聞かせひぐちかおる先生」をお招きして「ひなまつりをみんなで楽しもう」のイベントを開催しました。

始まる前から色とりどりの絵本がずらりと並び、子供達は手に取ったりめくったり興味津々でした。まだ2歳前のお子さんが多かったのですが、色がきれいで言葉は少ない絵本、見たことのある鳥や魚の絵本を読んでいたが、お子さんたちはひきつけられて先生の近くまで歩いていったりしていました。

また、お子さんを膝に乗せて一緒に歌って楽しめる絵本もたくさんで、お母さん方からも好評でした。パズルとひなあられのお土産もよるこんでいただきました。

おもちやライブラリーは毎月第1・2・3月曜日に開催されていますので、坂下かわら版の行事予定をご確認の上、ぜひ遊びに来てください。



先生、この本も読んで！



大きな絵本に釘付け



大人も童心に帰って聴き入りました

留・児島地区との懇談会開催

留支部長 大内 清孝

2月8日(土)に留・児島の二地区とコミ推、地域福祉局との地区懇談会が8年ぶりに留町民センターで行われました。

この懇談会は、コミ推地域福祉局主催で、各地区ごとに開催されているもので、今回は36人の参加があり、活発な意見交換が行われました。

大貫健コミ推会長、吉成地域福祉局局長の挨拶後、留地区及び児島地区からなる留町全体の世帯数や年齢別人口割合他の概要や、両支部を統括する留町民センター組織、活動内容等を児島支部長と留支部長とで説明を行いました。

次に減災に関するDVDを鑑賞し、日頃の防災意識向上の必要性を再確認しました。

続いてコミ推から、菜の花まつりとみなみ号の簡単予約についての紹介がありました。福祉局からは、あんしんネットワークによる地域内の見守り活動、緊急通報システムの事業紹介等があり、最後に意見交換が行われました。

意見交換では、高齢化が進行していく中での課題や今後の対策について、また、防犯対策等についての意見、情報交換が行われました。



質問される参加者



支部長による地域の説明



参加された皆さん

味噌づくりに参加して

石名坂町 黒澤 勝美

ふれあい事業部恒例の体験味噌づくりが2月11日(火)約30人の参加で南交流センターで行われ、昨年に引き続き参加をしました。

今回も味噌倶楽部の皆さんの指導により、前日から大豆洗いやドラム缶釜設置などの事前準備をし、当日は午後から味噌倶楽部の方々の協力で、大豆を茹でる作業から味噌づくりをスタートしました。

味噌づくりの工程は簡単に言うと、茹でた大豆をつぶしてペースト状にし、そこに塩と麹菌を加え混ぜたものをビニール袋に入れて醗酵させます。

なお、作った味噌は半年後くらいから食べられるそうです。

今回も各工程が予定通り終了し、最後にビニール袋に詰め、味噌をしつかり醗酵させるための空気抜きを各自で行い、自分の作った味噌の出来上がりを楽しみに持ち帰りました。

この味噌は大豆と麹だけで作り、添加物は一切加えない純粹な味噌です。市販の味噌と比べ味が全然違い美味しいです。

是非、皆さんも参加をして自分で美味しい味噌を作ってみてはいかがでしょうか。

私も、今回自分で作った味噌を食べられる8月が楽しみです。



③ミンチ状の豆を酵母菌と混ぜる



②茹でた豆をミンチ状にして……



①ドラム缶で豆を茹でて

新春ボウリング大会開催

坂下地区体育振興会

新年を迎えた1月19日(日)にK1ボウルでボウリング大会を開催しました。

今年も個人や家族、団体などでの参加があり、ジュニア4人、一般女子3人、一般男子24人の計31人が、2ゲームの合計スコアで競技しました。

昭和のボウリングブームに活躍したベテランや1年ぶりに投げる人などもおり、成績を超えて会場は温かい空気に包まれました。参加者同士の交流の場でもあり、ストライクやスペアには隣のレーンからも大きな拍手と歓声が上がリ、ボウリング場いつもの光景が戻ってきました。表彰式時には今年もコカ・コーラボトラーズジャパン社様提供のお年玉景品が参加者全員に配られました。



一球ごとに一喜一憂

上位成績者(敬称略)

	一般男子	一般女子	ジュニア
優勝	柏博文 (南高野)	川崎和子 (留)	梅原瑞輝 (児島)
準優勝	大内勇志 (児島)	白石裕子 (石団)	柏聖弥 (南高野)
第3位	坊山和利 (南団)	和地かず子 (石名坂)	大内陽彩 (児島)



熱戦を終えて全員集合

令和6年スポーツ賞

激励賞受賞

公益財団法人日立市スポーツ協会(小川春樹会長)の令和6年スポーツ賞の奨励賞を坂下地区体育振興会の大内清孝さん、佐藤淳さんの2人が受賞しました。表彰式は2月22日(土)池の川さくらアリーナで開催されました。

両名とも令和元年から、当会の理事として各事業の企画、運営に積極的に努められていることが評価されました。今後も地域のスポーツ振興、発展に尽力されることが期待されます。



小川会長を挟んで
左が佐藤さん、右が大内さん

市の花桜に施肥作業

南団支部 支部長 戸田潔

2月15日(土)、うららかに晴れた午前中、南団支部の有志5人で市の桜23選に選ばれた桜の木とその周辺の桜の木の根元に市から頂いた肥料を散布しました。南高野第2公園がピンクに染まるのが楽しみです。お近くの皆さん、お出でください。



固い地面を掘る作業



作業した南団支部の皆さん